

苫小牧港湾事務所におけるSDGsの達成に資する取組について



私ども苫小牧港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、苫小牧港など管内の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



カーボンニュートラルの実現を目指して

苫小牧港におけるカーボンニュートラルポート(以下、CNP)の実現に向け、苫小牧港管理組合と北海道開発局港湾空港部では官民一体となった「苫小牧港CNP検討会」を設立し、港湾における脱炭素化に向けた取組を行うための検討を進めています。本検討会には当事務所も参画しており、関係機関と連携の上、CNPの形成に向けた検討を進めて参ります。



苫小牧港CNP検討会



基幹産業の持続的な発展を支える

苫小牧港は、北海道のみならず我が国の産業・経済を支える北日本最大の物流拠点であり、主に岸壁整備を進めています。白老港では、貨物船の安全航行、荷役を安全に行うための防波堤を整備しています。これらの整備により、国内外の物流、産業を支える経済成長に貢献します。



苫小牧港西港区真古舞地区の岸壁整備



白老港の防波堤整備



みなとを核とした魅力あるまちづくり

苫小牧港湾事務所では、周辺の学校や市民などを対象に港湾施設を中心とした「みなと」に親しんでもらうために「みなと見学会」や「出前講座」を開催し、港の役割に関することなどについて紹介しています。加えて、クルーズ船の寄港時には女性ネットワークや地域と連携しておもてなし活動を進めています。このような取り組みを通じてみなとを核としたまちづくりにも貢献していきます。

【目標】 2022年度:12回/年 → 2023年度:20回/年 ※みなと見学会+出前講座



みなと見学会実施状況



クルーズ船係留状況